

タイトル ジェネレータ ISH-112P NTSC

本取扱説明書では、タイトル ジェネレータ ISH-112P の専用ソフトの使い方について説明いたします。

専用ソフト編 目次

メニューにない設定項目	2	専用ソフトの操作方法	7
専用ソフトの準備	2	<ul style="list-style-type: none"> ■設定 <ul style="list-style-type: none"> 1.日付,時刻 2.タイトル 3.タイトル表示位置 4.自動切換え 5.スケジュール 6.アラーム 7.リモート 8.その他 9.表示ページ 10.外字挿入 11.外字一覧 12.全項目の設定 13.機器のスレーブ アドレス 14.メンテナンス(設定項目の読み込み) ■プロトコル 	7
<ul style="list-style-type: none"> ■ダウンロード ■インストール方法 ■起動画面 ■ファイル ■インターフェイス 	2		
1 行表示/2 行表示(最初に設定してください)	6		
		必要なシステム構成	21

メニューにない設定項目

以下の項目は専用ソフトのみ可能な設定および操作です。

○タイトル入力.....8 ページ **2.タイトル** 参照

○外字作成、登録、挿入.....15 ページ **10.外字挿入**および 16 ページ **11.外字一覧** 参照

○設定のファイル保存.....2 ページ **■ファイル** 参照

専用ソフトの準備

■ダウンロード

アルテックス WEB サイトより、ISH-112P 専用ソフトの ZIP ファイルをダウンロードして保存します。

ZIP ファイルの中の“ISH112PSE.exe” および取扱説明書(本書)を解凍します。

※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。

※RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできます。

■インストール方法

“ISH112PSE.exe” をパソコンのローカル ディスク内に保存します。

デスクトップにショートカット アイコンを作成しておくことで便利です。



ISH112PSE.exe

■起動画面

“ISH112PSE.exe

” を起動させると、

右図の基本ウィンドウ
が表示されます。



■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

●上書き保存

開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

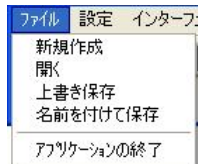
●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。

拡張子は“dat”です。

●アプリケーションの終了

専用ソフト(アプリケーション)を終了します。

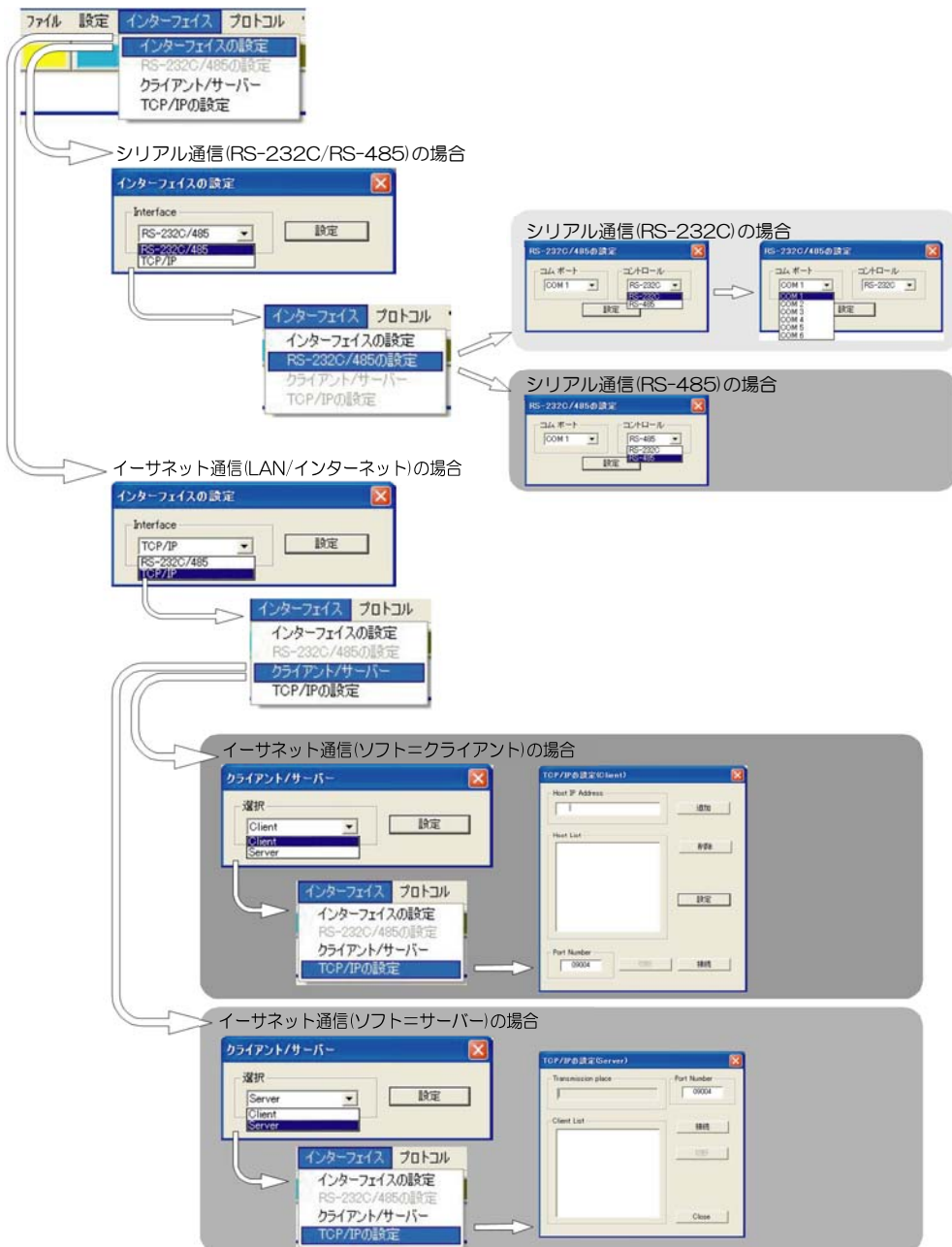


専用ソフトの準備

■インターフェイス

専用ソフトと ISH-112P で送受信をおこなうとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。

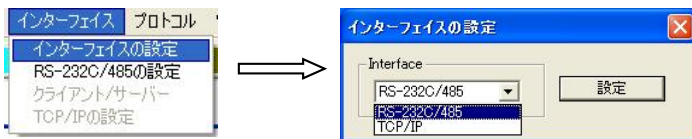
(ISH-112P 取扱説明書(本編) 4 ページ **システムの種類** 参照)



専用ソフトの準備

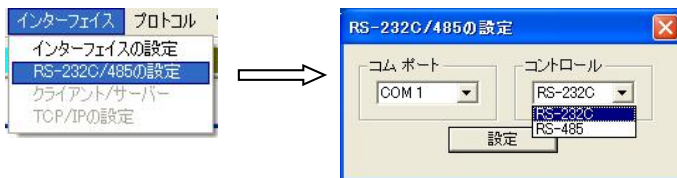
●インターフェイスの設定

通信方式を、RS-232C/RS-485 または TCP/IP から選択します。



●RS-232C/485 の設定

通信方式を、RS-232C または RS-485 から選択します。



◆コム ポート

使用するパソコンの Port に合わせてください。
COM1 が特に使用されていなければ、通常は COM1 を使用してください。

◆コントロール

RS-232C または RS-485 を選択してください。

※RS-232C を選択したときは、各設定項目の“スレーブ アドレス”が無効になります。

※RS-485 を選択したときは、各設定項目の“スレーブ アドレス”が有効になりますので、設定・操作する号機をリストより選択してから設定してください。
“スレーブ アドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると一斉送信となります。

注意 ●カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信ができません。
●一斉送信時はアンサーバックがありません。

●クライアント/サーバー

通信方式を TCP/IP としたとき、専用ソフトをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

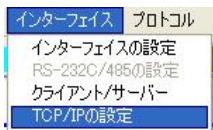


値	備考
Client	サーバー (ISH-112P 本体) に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	クライアント (ISH-112P 本体) からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

専用ソフトの準備

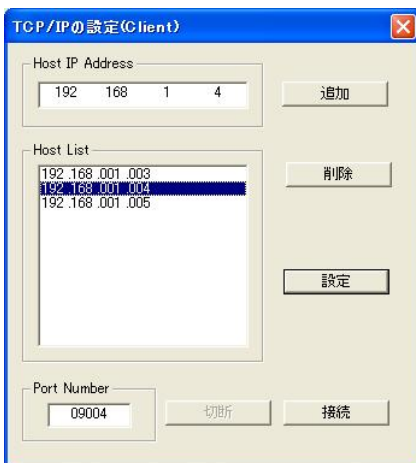
●TCP/IP の設定

通信方式を TCP/IP としたとき、通信先のアドレスなどを設定します。
クライアント/サーバーの設定で別の設定ダイアログが表示されます。



◆TCP/IP の設定(Client)

- ①接続したい ISH-112P 本体にあらかじめ設定したポート番号を“Port Number”に入力します。
(21 ページ ● Port Number 参照)
- ②各 ISH-112P の IP アドレスを“Host IP Address”に入力して“追加”をクリックすると、“Host List”に表示されます。
(20 ページ ● IP Address 参照)
- ③“Host List”から接続したい ISH-112P の IP アドレスをダブルクリックすると、“Host IP Address”に表示されますので、“接続”ボタンをクリックして接続してください。



- ④“設定”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をおこないます。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。

※他の ISH-112P と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の操作をおこなってください。

◆TCP/IP の設定(Server)

- ①接続したい ISH-112P 本体にあらかじめ設定したポート番号を“Port Number”に入力します。
(21 ページ ● Port Number 参照)
- ②“接続”をクリックしてリスン状態で待つと“Client List”に各 ISH-112P の IP アドレスが表示されます。
(20 ページ ● IP Address 参照)
- ③接続したいアドレスをダブルクリックすると“Transmission place”に表示され決定します。
- ④“Close”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をおこないます。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。



※他の ISH-112P と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の操作をおこなってください。

1 行表示/2 行表示(最初に設定してください)

最初に 1 行表示/2 行表示をかならず設定してください。

- 注意**
- 1 行表示/2 行表示の選択により、専用ソフトの各設定値の内容が変わります。
 - ご使用の途中で 1 行表示/2 行表示を変更したときは、ページ数の最大値が変わるため設定した値が無効になる場合がありますので、全項目の設定の再確認が必要です。

●1 行表示

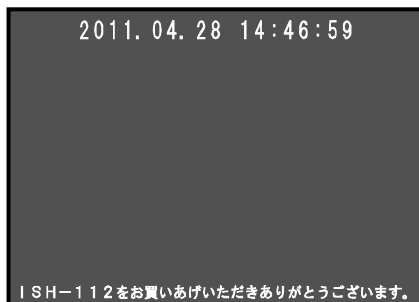
プリセットした 256 種類のタイトルをタイトル画面 P001～P256 に表示します。

(8 ページ **2.タイトル** 参照)

タイトル画面ごとに上行/下行を設定できます。

(9 ページ **3.タイトル表示位置** 参照)

日時を表示する場合は、タイトルの反対側に表示できます。(7 ページ **1.日付,時刻** 参照)



Line 1(1 行表示)の画面イメージ

●2 行表示

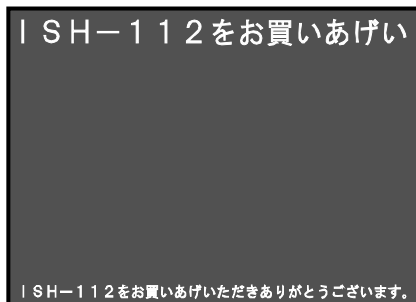
プリセットした 256 種類のタイトルをタイトル画面 P001～P128 に表示します。

(8 ページ **2.タイトル** 参照)

タイトル 001T,001B をタイトル画面 P001、

タイトル 002T,002B をタイトル画面 P002、

タイトル 128T,128B をタイトル画面 P128 に表示します。



Line 2(2 行表示)の画面イメージ

●設定方法

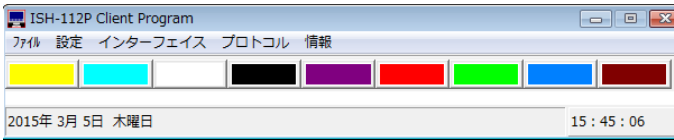


“ページ モード”で Line 1(1 行表示)または Line 2(2 行表示)を選択して、“設定”ボタンをクリックしてください。

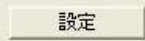
専用ソフトの操作方法

■設定

メニュー バー“設定”のプルダウン リストから設定したい項目をクリックするとシートが表示されます。起動画面の9個のボタンは、プルダウン リストと同じ機能の設定項目です。



●転送・保存

各シートで値を変更したら“設定”  をクリックすると値がISH-112P 本体に転送・保存されます。転送・保存されるとISH-112P 本体に記憶され、電源を切っても保存されます。各シートの設定内容を一括で本体に転送・保存するには、“全項目の設定”をおこないます。

- 注意**
- “設定”をクリックせずに“Close”などでシートを閉じた場合は転送されません。
 - メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。メニューを終了してから設定してください。
 - ケーブルの結線ミスまたは本体の電源が立ち上がっていない状態で専用ソフトの操作をした場合、タイムアウト エラーを検知しエラー メッセージを表示します。

1.日付,時刻

日付・時刻の調整と画面表示を設定します。日付・時刻表示は1行表示のときのみで、タイトルの反対側に固定表示されます。

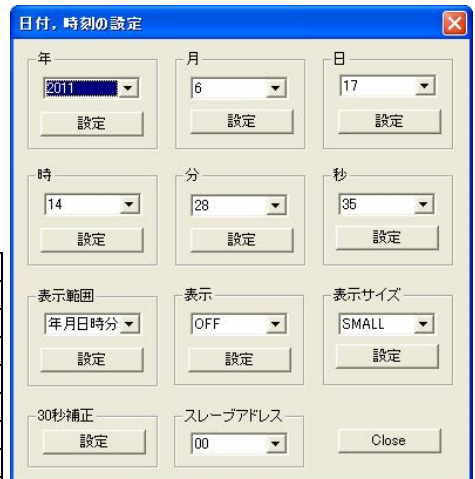
●年,月,日,時,分,秒

現在の日付,時刻の設定をおこないます。年,月,日,時,分,秒を入力してかならずそれぞれの“設定”をクリックしてください。

●表示範囲

日付・時刻の表示形式を設定します。

値	表示例
年月日時分秒	2015. 04. 28 14:46:59
年月日時分	2015. 04. 28 14:46
年月日	2015. 04. 28
月日時分秒	04. 28 14:46:59
月日時分	04. 28 14:46
月日	04. 28
時分秒	14:46:59
時分	14:46



●表示

日付・時刻を表示/非表示します。

値	表示
ON	表示する
OFF	表示しない

●表示サイズ

日付・時刻の表示サイズを設定します。

値	表示
NORMAL	中サイズ
SMALL	小サイズ

●30秒補正

時計の30秒補正をおこないます。

設定時の秒の値	調整される時間
00~29(秒)	現在の分の00(秒)
30~59(秒)	1分進んで00(秒)

専用ソフトの操作方法

2.タイトル

※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、
あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

●タイトル入力

タイトルを入力してプリセットします。

“ページ” に 001～256(001T～128B)を選択してから、“タイトル” に文字を書き込みます。

1 ページにつき全角 28 文字まで書き込むことができます。JIS 第一,第二水準 + 拡張文字の 7,324 文字を使用できます。(JIS X0208-1990)

設定表示	ページ	タイトル
1 行表示	001～256	P001～P256 画面のタイトルを設定する
2 行表示	001T,001B,002T,002B ? 128T,128B	P001～P128 画面の上行,下行のタイトルを設定する

注意

- 半角英数および半角カタカナは使用できません。
- スペースも全角を使用してください。
- フォント サイズにより表示できる最大文字数が変わります。
(13 ページ ●フォント サイズ上 および ●フォント サイズ下 参照)

●設定

表示中の“ページ”に入力されたタイトルのみ ISH-112P に転送・保存されます。

●全設定

001～256(001T～128B)全ページに入力されたタイトルが ISH-112P に転送・保存されます。

注意

- 空欄のページがあると、その空欄も転送・上書きされてしまいますのでご注意ください。
- タイトルの入力は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。
- 映像入力端子に映像信号が入力されていない黒画面では、日時およびタイトル等が正常に表示されないことがあります。これは故障ではありませんので、かならず画面に映像を表示させてタイトルの設定・確認をするようにしてください。

専用ソフトの操作方法

3.タイトル表示位置

※この項目は 1 行表示のときのみ有効な設定です。

あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示の選択を確認してください。

1 行表示のとき、表示位置

上行/下行をタイトル 1～256
ページごとに設定します。

“ページ”に 001～256 を選
択してから、“表示位置”で
上/下を選択します。

“同表示位置”は全ページの
上/下を設定します。

値	動作
上	上行に表示する
下	下行に表示する

●設定

表示中の“ページ”に設定された値のみ ISH-112P に転送・保存されます。

●全設定

001～256 全ページに設定された値が ISH-112P に転送・保存されます。

4.自動切換え

※この項目は 1 行表示のときのみ有効な設定です。

あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示の選択を確認してください。

自動切換え表示の各タイトル
ページの表示時間を 00～
99(秒)に設定します。
00(秒)のときは、そのタイトル
はスキップします。

“ページ”に 001～
256(001～128)を選択して
から、“時間(秒)”で値を選択
します。

“同時間(秒)”は全ページの値
を設定します。

設定表示	ページ	設定
1 行表示	001～256	P001～P256 画面にそれぞれ表示時間を設定する
2 行表示	001～128	P001～P128 画面にそれぞれ表示時間を設定する

●設定

表示中の“ページ”に設定された表示時間のみ ISH-112P に転送・保存されます。

●全設定

001～256(001～128)全ページに設定された表示時間が ISH-112P に転送・保存されます。

専用ソフトの操作方法

5.スケジュール

※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、

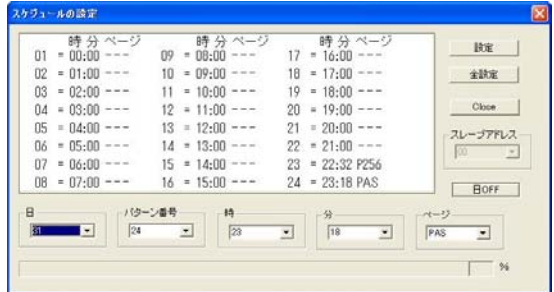
あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

指定した日時に指定したタイトル ページを表示するように、スケジュールを設定します。

① “日” で、設定したい日付(01～31)を選択します。

② “パターン番号” でパターン(01～24)を選択します。

パターンとは、時刻と表示タイトルの組み合わせで 24 通り設定できます。



設定表示	値	表示
1 行表示	001～256	タイトル 1～256 ページを表示する
2 行表示	001～128	P001～P128 画面を表示する
共通	PAS	自動切換え(オート シーケンス)表示する
	---	スケジュールが設定されていない

- 注意**
- 同じ日付のパターン 01～24 に同じ時分を入力しないよう(スケジュールが重複しないよう)にしてください。
 - メニュー表示中およびアラーム動作中は、指定した日時分になっても設定したタイトル ページに切りません。

●設定

表示中の“日”および“パターン番号”に設定されたスケジュールのみ ISH-112P に転送・保存されます。

●全設定

全日付,全パターンのスケジュールが ISH-112P に転送・保存されます。

●日 OFF

表示中の“日”の全パターンに設定されたスケジュールが無効(---)になります。

専用ソフトの操作方法

6.アラーム

背面のアラーム/リモート
信号入力コネクタをアラ
ームとして使用するときの
動作を設定します。



リモート

※この設定はリモートに設定されているとき
は選択不可となります。

(12 ページ ●コネクタ入力 参照)

●モード

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動 作
Internal	“保持時間”で設定した時間、アラーム動作を保持する
External	センサー等が入力されている間、アラーム動作を保持する

●保持時間

アラーム動作の保持時間を 003～999 (秒)
の間で設定します。

※002 (秒) 以下の設定はできません。

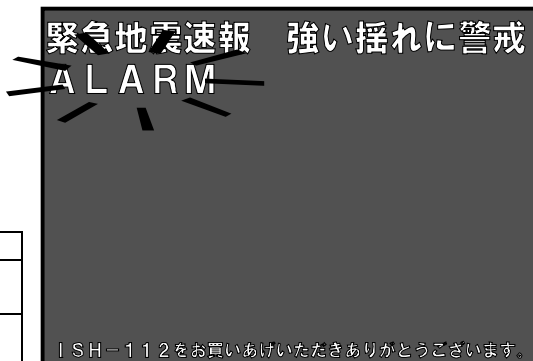
※“モード”が“Internal”のとき有効で
す。

●入力極性

アラーム入力信号の検出点を設定します。

値	動 作
Make	ノーマル オープン センサー等が閉じたとき検出
Break	ノーマル クローズ センサー等が開いたとき検出

※“モード”が“Internal”のとき有効です。



●表示

アラーム動作中、画面左上に表示させる“ALARM”の設定です。

値	表 示
ON	アラーム動作中、指定したタイトル ページを表示し、さらに“ALARM”を点滅表示させる
OFF	アラーム動作中、指定したタイトル ページを表示するのみで“ALARM”の点滅表示は無し

●リターン

アラーム動作解除後のタイトル表示を設定します。

値	表 示
ON	アラーム前のタイトル ページ表示に戻る
OFF	アラーム入力があったタイトル ページ表示のまま(文字色は通常の色に戻る)

●コネクタ番号割り付け

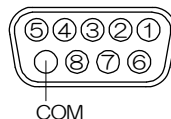
※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、

あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

アラーム信号入力コネクタのピン番号とタイトル ページ P001～P256

(P001～P128)の組み合わせを設定します。

アラーム信号が 1～8 ピンに入力されると、ここで設定したタイトルが映像に表示されます。



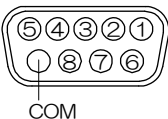
●設定

各項目の値が ISH-112P に転送・保存されます。

専用ソフトの操作方法

7.リモート

背面のアラーム/リモート信号入力コネクタをリモートとして使用するときの動作を設定します。



※この設定はアラームに設定されているときは無効となります。
(本ページ 8.その他 ●コネクタ入力 参照)

リモートの設定

コネクタ番号割り付け	モード
No.1 001	BINARY
No.2 002	BINARY
No.3 003	BIT
No.4 004	OPERATION
No.5 005	
No.6 006	スレーブアドレス
No.7 007	00
No.8 008	

設定 Close

●モード

リモート信号入力モードを設定します。

値	表 示
BINARY	バイナリー コードによる信号の組み合わせにより、ページ 1～256 を表示する (ISH-112P 取扱説明書(本編) 22 ページ リモート コネクタのバイナリー コード 参照)
BIT	1 つのピンに対して 1 ページずつ設定する “コネクタ番号割り付け” で組み合わせを設定する
OPERATION	ピン番号 1 30 秒補正 ピン番号 2 タイトル・日時の表示/非表示 ピン番号 3～8 使用しません

●コネクタ番号割り付け

※ “モード” が “BIT” のときのみ有効です。
※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、
あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

リモート信号入力コネクタのピン番号とタイトル ページ P001～P256(P001～P128)の組み合わせを設定します。
アラーム信号が 1～8 ピンに入力されると、ここで設定したタイトルが映像に表示されます。

●設定

各項目の値が ISH-112P に転送・保存されます。

8.その他

●コネクタ入力

背面のアラーム/リモート信号入力コネクタの用途を設定します。



値	用 途
ALARM	アラーム信号入力コネクタとして使用
REMOTE	リモート信号入力コネクタとして使用

その他の設定

コネクタ入力	電源投入時ページ	ページ モード
ALARM	001	Line 1
ALARM	設定	設定
REMOTE		
フォント サイズ上	フォント サイズ下	
中	中	
設定	設定	
上表示オフセット	下表示オフセット	スレーブアドレス
004	100	00
設定	設定	Close

専用ソフトの操作方法

●電源投入時ページ

※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、
あらかじめ次項の ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

電源を入れたときに表示させるタイトル画面を設定します。

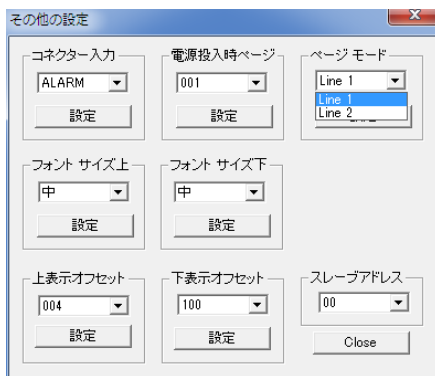
設定表示	値	動 作
1 行表示	001~256	P001~P256 画面を固定表示する
2 行表示	001~128	P001~P128 画面を固定表示する
共通	PAS	自動切換え(オート シーケンス)表示する

●ページ モード

タイトルの 1 行表示/2 行表示を設定します。

注意 ●PAGE MODE を変更するとページ数の最大値が変わるため、設定した値が無効になる場合がありますので、全項目の設定の再確認をお願いします。

値	動 作
Line 1	1 行表示 P001 画面：タイトル 001 ページを 上行または下行に表示 P256 画面：タイトル 256 ページを 上行または下行に表示
Line 2	2 行表示 P001 画面：タイトル 001T,001B ページを上下行に表示 P002 画面：タイトル 002T,002B ページを上下行に表示 P128 画面：タイトル 128T,128B ページを上下行に表示



●フォント サイズ上

上行に表示するタイトルのフォント サイズを設定します。

値	文字数	ドット
小	28 文字	22×22
中	21 文字	30×30
大	14 文字	46×46

※日時表示のサイズには設定が反映されません。

●フォント サイズ下

下行に表示するタイトルのフォント サイズを設定します。

値	文字数	ドット
小	28 文字	22×22
中	21 文字	30×30
大	14 文字	46×46

※日時表示のサイズには設定が反映されません。

ISH-112 をお買いあげい

ISH-112 をお買いあげいただきありがとうございます。

上行:大 下行:小の表示イメージ

専用ソフトの操作方法

●上表示オフセット

上行に表示するタイトルと日時の表示位置を調整します。

000～104

●下表示オフセット

下行に表示するタイトルと日時の表示位置を調整します。

000～104

●設定

各項目の値が ISH-112P に転送・保存されます。



9.表示ページ

●ページ

※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、あらかじめ
13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。



表示させるタイトル ページを設定します。

設定表示	値	動 作
1 行表示	001～256	P001～P256 画面を固定表示する
2 行表示	001～128	P001～P128 画面を固定表示する
共通	PAS	自動切換え(オート シーケンス)表示する

●表示 ON/OFF

タイトルを表示/非表示します。

値	動 作
ON	タイトル・日時を表示する
OFF	タイトル・日時を表示しない

※本体前面の▶ボタンによる表示/非表示もできます。

(取扱説明書本編 10 ページ ■フロント ボタン操作 参照)

※リモート信号入力による表示/非表示もできます。(12 ページ 7.リモート 参照)

●設定

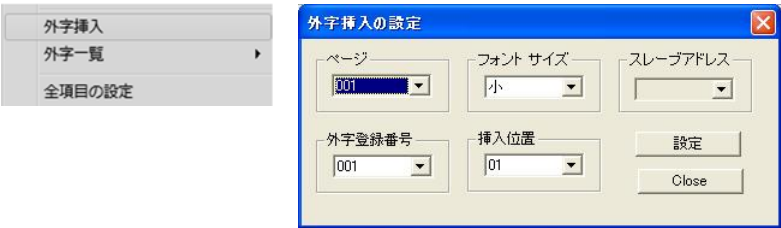
各項目の値が ISH-112P に転送・保存されます。

10.外字挿入

※この項目は 1 行表示/2 行表示の設定により内容が変わりますので、
あらかじめ 13 ページ ●ページ モード で 1 行表示/2 行表示を選択してください。

登録した外字を挿入します。(次ページ 11.外字一覧 参照)
外字を挿入したいページをモニターに表示させておくの確認しやすくなります。

注意 ●挿入先のタイトルの**文字サイズ**を確認して、タイトルに挿入できる外字を選択してください。
●タイトル ページの自動切換え中は外字を挿入しないでください。



フォント サイズ(小/中/大)ごとに下表のとおり挿入することができます。

フォント サイズ	ドット	外字登録番号	挿入位置
SMALL(小文字)	22×22	001～256	01～28
MEDIUM(中文字)	30×30	001～160	01～21 (22～28 は挿入できません)
LARGE(大文字)	46×46	001～070	01～14 (15～28 は挿入できません)

- ① “ページ” に外字挿入するページ 001～256(001T～128B) を選択します。
- ② “フォント サイズ” 小/中/大を選択します。
- ③ “外字登録番号” を選択します。
- ④ “挿入位置” を選択します。
挿入位置は、画面の左側から順に 01,02,03…です。
- ⑤設定ボタンをクリックします。

11.外字一覧

JIS 第一、第二水準＋拡張文字の 7,324 文字以外の文字を作成して登録することができます。

●外字の作成、登録手順

注意 ●タイトル ページの自動切換え中は外字の操作をしないでください。

①外字を作成する文字サイズを選択します。

外字を挿入したいタイトルの文字サイズによって、作成する外字の文字サイズは変わります。

挿入したいタイトルの**文字サイズ**を確認してから外字一覧(小文字/中文字/大文字)を選んで作成してください。



②外字一覧を表示します。

“番号切り替え”のプルダウン リストから登録番号を選択してください。

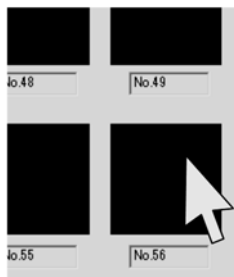
外字サイズ	ドット	登録番号
大文字	46×46	No.1～No.70
中文字	30×30	No.1～No.160
小文字	22×22	No.1～No.256



専用ソフトの操作方法

③登録番号を選択します。

編集したい登録番号にポインターを合わせ、ダブルクリックします。



左ダブルクリック
④外字の編集画面へ

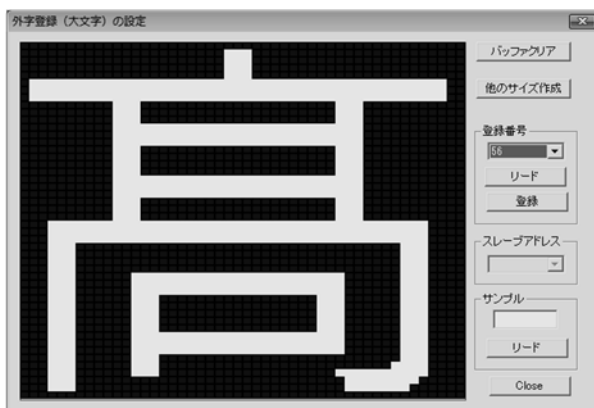
右ダブルクリック
BMP ファイル作成
記録用などに使用可



④編集エリアに外字を描きます。

左クリックすると白塗りし、右クリックすると塗りを消去します。
1 列の線は鮮明に表示されにくいので、できるだけ 3 列以上の塗りで線を描くようにしてください。
一番外側の枠は塗ることはできません。

⑤“登録番号”を確認して“登録”ボタンをクリックすると外字が本体に転送・保存されます。



注意 ●転送・保存中はスクロール表示が停止します。
●外字挿入をするまでタイトルには外字が表示されません。(15 ページ 10.外字挿入 参照)

⑥別の登録番号と外字を登録する場合は、①～④を繰り返してください。

同じ登録番号で登録すると後から登録した外字が上書きされます。

⑦“Close” ボタンをクリックして終了します。

⑧作成した外字をパソコンにファイルで保存する場合は、外字一覧で“名前を付けて保存”ボタンをクリックし、任意の場所に名前を付けて保存してください。

保存したファイルの拡張子は、大文字:TLL 中文字:TLM 小文字:TLS です。

保存したファイルをまた開いて編集する場合は、外字一覧で“開く”ボタンをクリックします。

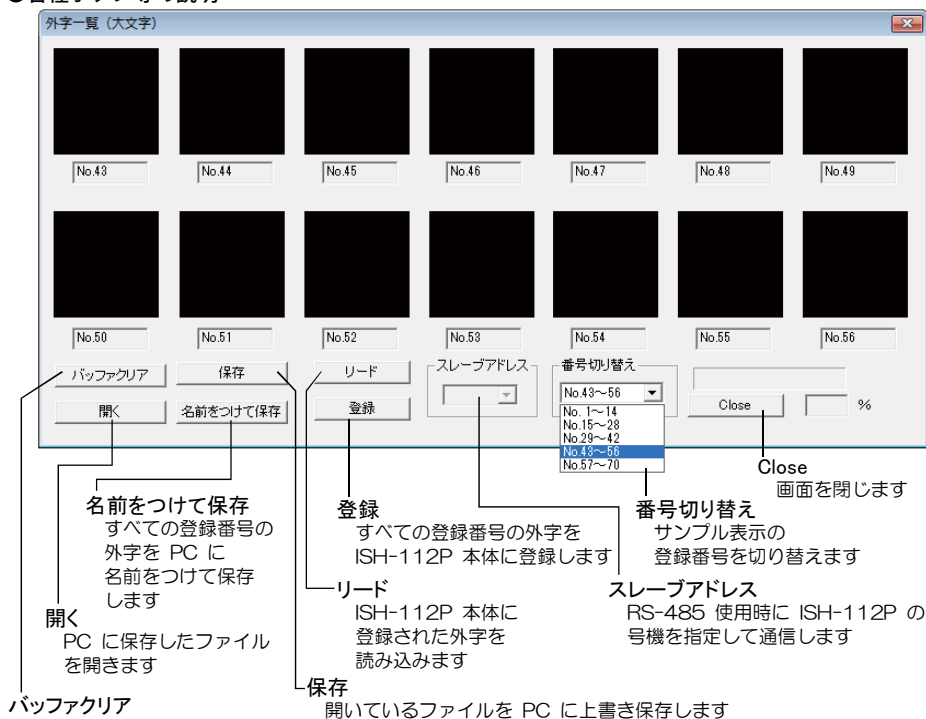
“保存”で同じファイルに上書き保存します。



⑨“Close” ボタンをクリックして終了します。

専用ソフトの操作方法

●各種ボタン等の説明



バッファクリア

外字一覧すべての登録番号の外字を消去します
登録、保存されていない外字データは元にもどりません

バッファクリア

編集エリアの塗りを消去します
登録、保存されていない外字データは元にもどりません

他のサイズ作成

編集中的外字を他の 2 サイズの同じ登録番号に上書き作成します
ただし、同じ登録番号がない場合は作成しません

登録番号

読み込んだり登録したりする登録番号を選択して指定します

リード

ISH-112P 本体の指定した登録番号に登録されている外字を編集エリアを読み込みます

登録

ISH-112P 本体の指定した登録番号に編集中的外字を登録します

スレーブアドレス

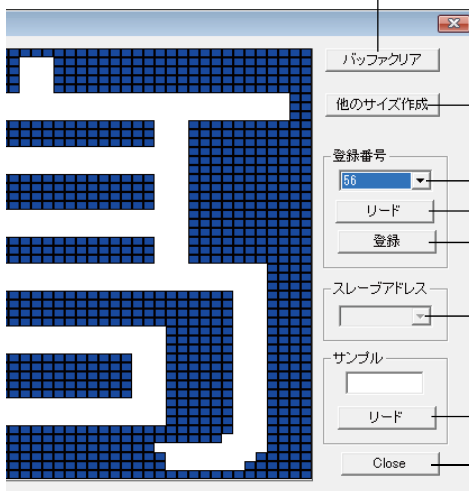
RS-485 使用時に ISH-112P の号機を指定します

サンプル、リード

枠に入力した全角 1 文字を ISH-112P 本体から編集エリアを読み込みます

Close

画面を閉じます



専用ソフトの操作方法

●登録した外字の確認方法

自動切換え(オート シーケンス)ではない画面のとき、モニターを見ながら決定ボタンを 10 回連続して押します。

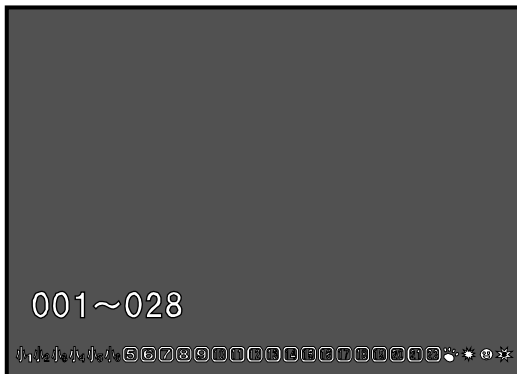
画面の下行に大/中/小それぞれの登録済の外字が表示されます。
この画面を解除するときは決定ボタンを 10 回連続して押します。



※あらかじめ“その他の設定”の“フォント
サイズ下”で下行のフォントサイズ大/中/小
を設定しておいてください。

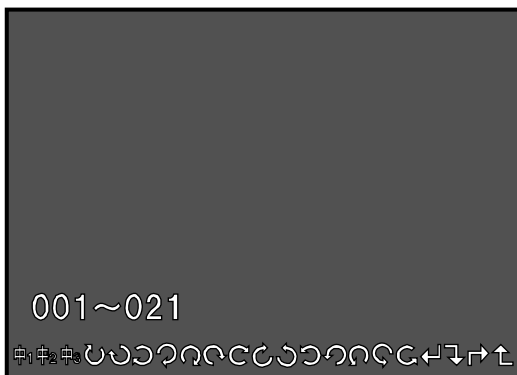
◎小文字の場合

登録した外字が 28 文字ずつ表示されます。
登録番号 001~028/029~056/057~
084/085~112/113~140/141~
168/169~196/197~224/225~
252/253~256 ごとに表示され、
▲、▼ボタンで表示を切換ええます。



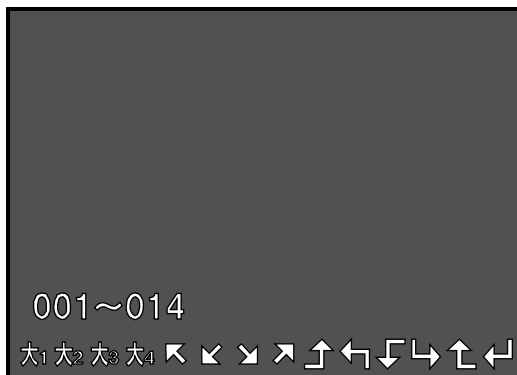
◎中文字の場合

登録した外字が 21 文字ずつ表示されます。
登録番号 001~021/022~042/043~
063/064~084/085~105/106~
126/127~147/148~160 ごとに表示
され、▲、▼ボタンで表示を切換ええます。



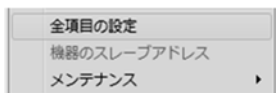
◎大文字の場合

登録した外字が 14 文字ずつ表示されます。
登録番号 001~014/015~028/029~
042/043~056/057~070 ごとに表示
され、▲、▼ボタンで表示を切換ええます。

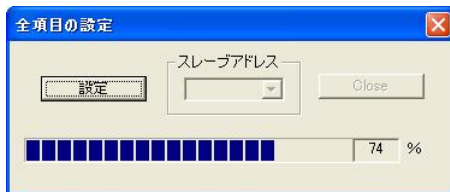


専用ソフトの操作方法

12.全項目の設定



専用ソフトで設定した内容を一括で本体に送信します。
“設定”をクリックすると本体に送信して設定します。
送信には時間がかかります。

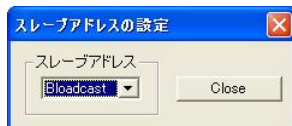
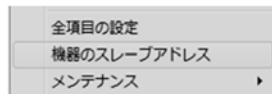


13.機器のスレーブ アドレス

インターフェイスでRS-485の使用を設定したときのみ有効になります。
(4 ページ ●RS-232C/485 の設定 参照)

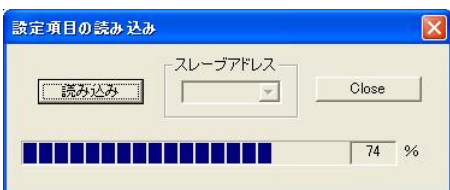
通信したいISH-112Pの号機(00~31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00~31,Broadcast)が入力された状態になります。

注意 ●RS-232CとRS-485を同時に使用することはできません。



14.メンテナンス (設定項目の読み込み)

本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。
“読み込み”をクリックすると本体から専用ソフトに読み込みます。読み込みには時間がかかります。

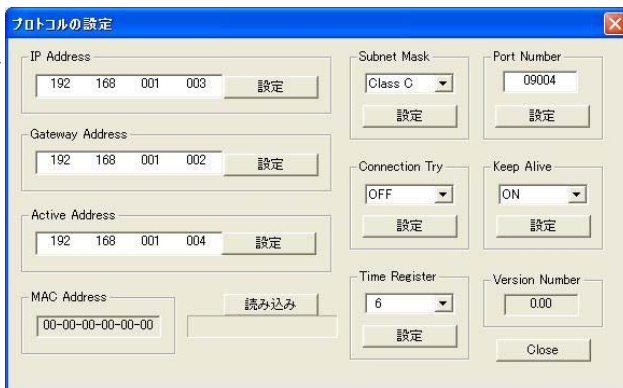
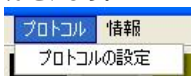


■プロトコル

イーサネット経由で本機を操作する準備として、各ISH-112P本体のアドレス等を設定します。
この設定は、パソコンと本体をかならずRS-232C経由で接続しておこなってください。

(3 ページ ■インターフェイス 参照)

メニューバー“プロトコル”から“プロトコルの設定”をクリックするとシートが表示されます。



● IP Address

ISH-112P 本体のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

● Gateway Address

ISH-112P 本体のデフォルト ゲートウェイを設定します。

- ISH-112P 本体をクライアントとして使用する場合には、属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
- ISH-112P 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

専用ソフトの操作方法

● Active Address

通信先のアドレスを設定します。

- ISH-112P 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
- ISH-112P 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

● Subnet Mask

サブネット マスクを設定します。

ほとんどの場合、工場出荷時の“Class C”のままご使用いただけます。

● Port Number

各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。

● Connection Try

ISH-112P 本体のクライアント/サーバーを設定します。

値	動作	備考
OFF	サーバーとして使用	クライアント(パソコン)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する
ON	クライアントとして使用	サーバー(パソコン)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける

● MAC Address

この項目は ISH-112P 本体の MAC アドレス確認用で、“読み込み”をクリックすると表示します。
16 進数で表示され本体別に異なります。**設定はできません。**

● Time Register

“Keep Alive” が ON のとき、接続を知らせる時間を設定します。

値	時間
1	1(分)
2	2(分)
3	5(分)
4	10(分)
5	20(分)
6	50(分)

● Keep Alive

通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

※通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

必要なシステム構成

ISH-112P 専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows Vista 日本語版, Windows 7 日本語版, Windows 8 日本語版
- 400KB 以上の空き容量のあるハードディスク
- Ethernet ポートまたは RS-232C ポート(シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム